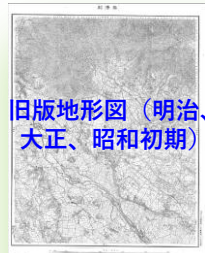


- 火山土地条件図は、過去の火山活動により形成された地形や噴出物(溶岩流、火砕流、スコリア丘等)の分布、噴火後の侵食地形や堆積地形(崩壊、地すべり、岩屑なだれ堆積地、火山麓扇状地等)などを表示した、縮尺 1/10,000~1/50,000の火山に特化した地形分類図。
- 1988(昭和63)年7月の測地学審議会(当時)の第四次火山噴火予知計画の建議において、火山活動に伴う防災計画、土地保全計画等のための基礎資料として火山土地条件図が位置付けられ、整備を開始。
- 活火山を対象に、火山防災のために監視・観測体制の充実等が必要とされる51火山を優先して整備。
- 火山災害の予測や防災対策立案、土砂災害等の火山砂防計画等に利用されているほか、各種調査・研究、教育のための基礎資料や地域・郷土の理解を深めるための資料としても活用できる。



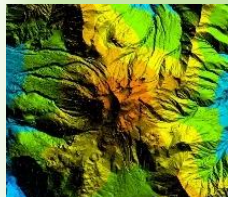
旧版地形図(明治、大正、昭和初期)

旧版地図



米軍写真など(1940年代)

空中写真



高精度地形データ



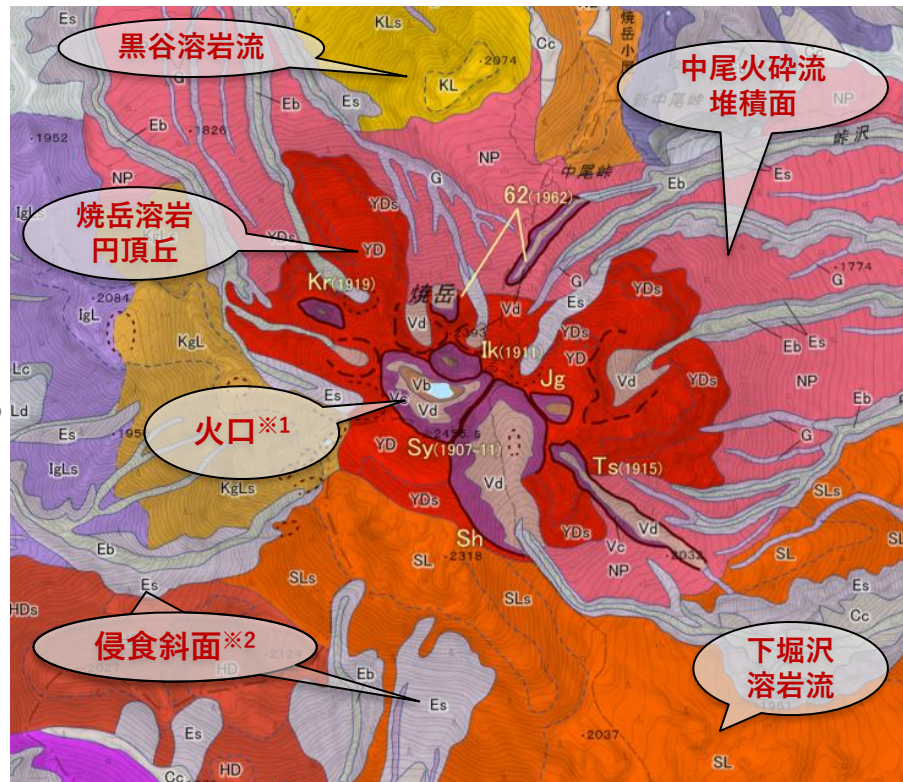
空中写真等の判読作業



現地調査



検討委員会



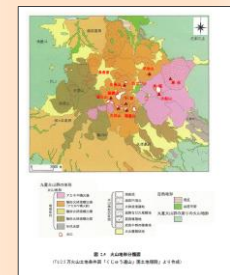
火山土地条件図「焼岳」の一部

※1: 噴火時の噴出口となるリスク高  
 ※2: 噴火、豪雨、地震時の崩壊リスク高

火山防災協議会等での議論における活用



火山防災計画策定等における活用



九重山火山噴火緊急減災対策砂防計画(大分県)